

PPP/PFIの活用状況と収支状況(大阪市の場合)

参考資料2

○行政人口
・266万人

○普及率
(処理区域内人口/行政人口)
・99.9%

○使用料単価(円/m³)
・95.4円

○汚水処理原価
・92.6円

○職員数
・1,601名

管路施設

○延長:約4,900キロメートル
○ポンプ場:58か所

業務	直営	民間委託	
		仕様	包括
巡視点検	○		
調査	一部	○	
清掃	一部	○	
修繕	一部	○	
事故対応 (陥没、閉そく等)	○		
住民対応	○		

水処理

○下水処理場12か所

業務	直営	民間委託		備考
		仕様	包括	
運転管理	○			
点検	○			
清掃	○			
ユーティリティ調達	○			
緊急時対応	○			

汚泥処理

○2か所
・舞洲スラッジセンター(脱水、溶融)
・平野下水処理場(脱水※、焼却、溶融)

業務	直営	民間委託		備考
		仕様	包括	
運転管理		○		※平野(処)の脱水は全て直営
点検		○		
清掃		○		
ユーティリティ調達	○			
緊急時対応	○			

資源有効利用

利用手段	実施手法
消化ガス発電	PFI

収益	735億円
下水道使用料	409億円
雨水処理負担金	297億円
他会計補助金	10億円
その他収益	19億円
費用	716億円
管きよ費	53億円
ポンプ場費	32億円
処理場費	143億円
減価償却費	275億円
支払利息	125億円
その他費用	89億円
(企業債残高)	544.8億円
資本的収入	631億円
企業債発行	443億円
国庫補助金	156億円
他会計出資金	0円
その他(他会計補助金等)	32億円
資本的支出	947億円
建設改良費	385億円
企業債償還金	560億円
その他	1億円

<53億円>

<32億円>

<32億円>

<46億円>

<58億円>

<0億円>

<123億円>

<37億円>

<16億円>

<0億円>

<104億円>

<36億円>

<16億円>

<0億円>

<9億円>

<2億円>

<1億円>

<1億円>

<269億円>

<80億円>

<35億円>

<1億円>

(管きよ171億円, ポンプ98億円)

※四捨五入の関係で数値の合計が一致しない場合がある

(数値出所) 地方公営企業年鑑 (H22年度実績データ)